



「子育て支援に関する講座B」

令和元年7月11日（木）開催

今回は、安曇野市立三郷小学校にて授業参観の一環で、親子共に受講するかたちで行いました。前半親子の部では、メディアを多く使用することで起こる脳や心への悪影響について、小学生を含む受講者に分かりやすくお話いただきました。後半親の部では、アンケート調査結果をもとに子どもたちの現状や、メディア依存症、ネットトラブル（いじめ・犯罪）の現状を小児科としての経験をふまえ、実話を交えお話いただきました。

こういった現状を知ったうえで、家庭におけるメディアとのつきあい方（NOテレビ・メディアデー）や、生活（早寝・早起き・朝ごはん）を親子で改めて見つめなおすよい機会となりました。講師からは「子どもにとって『都合のいい親』にはならないでください」と話され、子どもとのコミュニケーションをとりながらルールを決めていくことの大切さを学びました。

（受講者数 821人）

〈研修内容〉

情報モラル講演会

－健やかな成長につながるメディアとのつきあい方－

【講 義】「メディアとの上手な付き合い方

－子どもの脳とメディア－」

【講 師】 みやばやしこどもクリニック院長 宮林 麻里 氏



受講者アンケートから

- メディアは、とても便利なものだけど、子どもとは約束を守って、上手く利用していかなければならないと思いました。
- よくないというだけの伝え方だけでなく、どのようにしたら、どうしてよくないのかが、聞いてよかった。
- 子どもの心身を守るのは、親の責任だということを肝に銘じて、メディアと接していきたいと思った。
- 子どもに正しい知識を教えるためにも、正しい使い方を学び、親子で話し合い、コミュニケーションをとるようにしていきたいと思った。
- 親が一方向的に決めるのではなく、子どもと一緒にルールを決めれば、子どもも納得すると思うので実行したいと思います。
- まず、私自身の食事中的スマホ使用をやめようと思います。ノーTVデーを作ります。今日はとてもいい機会を頂きありがとうございました。